



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ
「世界へのプレゼントになろう (Be a gift to the world) 」
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン
2015~16 年度 関ロータークラブテーマ
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2394 号

平成 27 年 11 月 24 日 (火)

前例会の記録 第 2393 回 11 月 17 日(火)12:30

「 EREY150 を目指して 」
国際ロータリー第 2630 地区 補助金小委員会
地区補助金担当 副委員長 堀部哲夫様

- ◆開会点鐘
- ◆「それでこそロータリー」斉唱
- ◆ビジター紹介 関市 経済部 商工課 川崎智明様
- ◆テロ事件に対して哀悼の意を表すための黙祷
- ◆会長挨拶 藤井淳



フランスで起きたテロ事件に対して哀悼の意を表すための黙祷にご協力を頂き、ありがとうございました。今回の様なテロ活動は許されざる行為です。被害者やそのご家族には多くの支援の手が差し伸べられると思います。またロータリーの方でも義援金などのお話が出るかも知れませんが、それも大事ですが、やはり個人個人が

できうる意思表示(テロ反対、亡くなった方に哀悼の意を表す)をすることが大切だと感じています。例えば関 RC の会員の方もやってみえますが、フェイスブックのプロフィール画像にフランス国旗のトリコロール(青、白、赤)を透かしで入れることによって、傷ついたパリ市民の心を少しでも癒やせれば良いと考えて行動することが大切だと感じています。東日本大震災があった時、ヨーロッパの多くのサッカー場ではサッカーチームの応援歌として有名な「YOU'LL NEVER WALK ALONE」という歌を日本に向けて大合唱してくれました。「君は決して一人ではない→チームに関わる者、サポーターの我々は決して一人ではない、共に歩もう」と言う意味です。テロという災害に遭ったパリ市民(フランス国民)に向けて、何かできないだろうかと考えることが大切ではないでしょうか。今回のテロ事件は決して対岸の火事ではありません。ロックバンドのコンサートが行われていた襲撃場所となったバタ克蘭劇場は、キャリアパミュパミュやパフェムがコンサートを行った場所でもあります。4年後の2019年にはラグビーのワールドカップが、5年後の2020年にはオリンピックがそれぞれ日本で開催されます。国際ロータリーの使命は、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。ロータリー財団

の使命は、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。そしてロータリー財団の標語は、「世界で良いことをしよう」です。今日は、当クラブから地区財団に出向してみえる堀部さんから「ロータリー財団について」という宅話をお話し頂けますので、世界平和のためにロータリー財団が今回の件にどのような対応をされるかも含めて、聞かせて頂けたらと、楽しみにしています。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 加藤照彦
会員 47 名中 出席 24 名 出席率 53.34%

◎ニコボックス委員会 委員 西本理美

会長・副会長・幹事の皆さん・・・川崎様、せき Biz 発足おめでとうございます。関市がどんどん元気になっていくことを祈念いたします。堀部さん、出向お疲れ様です。今日はメンバー全員しっかり勉強させて頂きます。

堀部哲夫さん・・・本日は、よろしくお願ひ致します。
林(隆)、長尾、高井、加藤(浩)、西本の皆さん・・・堀部さん、今日は R 財団の報告ご苦勞様です。

今峰徹さん・・・昨日は、I GMにご参加いただきありがとうございました。50 周年事業に向けての貴重なお話をいただきありがとうございました。全力で頑張ります。

清水(善)、後藤、加藤(浩)、皆さん・・・昨晩は I GM で今峰先生にお招きいただき、50 周年記念事業での熱い会話に盛り上がり、素晴らしい方向性が見えてきたような気がします。美味しい旬のふぐ料理をご馳走になり、有意義な I GM でした。今峰先生ありがとうございました。

高木道彦さん・・・私のバースデーカードが届きました。ありがとうございました。

◆ I GM の報告 加藤浩二

今峰先生が診療の都合で全員そろっての開催が若干遅れて開催されました。その間、清水先輩による鍋のおいしい食べ方を、出汁から始まり雑炊で終わる、鍋の手順を素材の旨味をうまく引き出す説明とともにご講義いただきました。中でも春菊の役割と食すタイミングは、今まで苦いだけと思っていたものが食べたことのない様な甘い味わいでいただく事ができました。大変勉強になりました。少し遅れ今峰先生が加わり、本格的な IGM が始まり、鍋を囲んでいた楽しい雰囲気が一変し、食事を取りながらの厳粛なムードで IGM が始まりました。はじめに、今峰次期会長が、50 周年の事業は、すでに 12 月までに方向性を確定

したいということで、50周年という節目に立ち、今までの50年の思いと、これから始まる60周年への関ロータリーとしての軌跡を考え、さらにメンバー一人ひとりの事も重んじて、尚且つ予算面も考慮して総合的に考えていきたいと挨拶されました。議論の焦点は、やはり安桜山でした。安桜山の整備を行うことは、関市の古い観光名所の貴重な自然や、岩肌をできるだけ残しながら新たに整備し関市民の新観光名所とすることで、市民にロータリーの活動を理解してもらう為に是非とも成功させたいということや、メイン事業の内容としては、一部のメンバーだけではなく全員が参加し、現在案として出ている東屋、遊歩道の手すり設置などいろいろな意見を頂き、全員で考え、ともに努力し全員で達成感を味わいたいなどと、活発な意見が出て、成功に向けて熱弁がふるわれておりました。また、平成30年に向けて東屋、東ルート、西ルートなどすべてを整備し関ロータリークラブの一大事業としては？など、最近の流行を利用して、善光寺の五郎丸に似た仏像にあやかり、本物の五郎丸をタグラクビーと絡め招待しては？など大変夢のある話がなされ、有意義で美味しいIGMでした。最後にホストの今峰先生、みね家さんで今最も旬な、ふぐのフルコースをご馳走していただきありがとうございました。

◆「EREY150を目指して」

国際ロータリー第2630地区 補助金小委員会
地区補助金担当 副委員長 堀部哲夫様



財団寄付はEREY150を求められるようになってきました。今日は、その背景を少し説明したいと思います。財団に寄付したお金がどのような流れで補助金として帰ってくるのかも一度見ていきましょう。ロータリアンから財団への寄付には3種類あります。年次基金寄付と恒久基金寄付と使途指定寄付です。皆さんからの年次基金寄付は、すべてま

ず3年間財団で運用されます。そして、3年たつとその元本はすべて補助金の資源となります。恒久基金は毎年運用され、その運用益の50%が補助金の資源として加えられます。そうして作られた補助金の資源は50%をDDF(地区財団活動資金)として地区に戻します。地区は、そのDDFの50%を地区補助金として使うことが出来ます。DDFの残りの50%はグローバル補助金、又は、奨学金、職業研修(VTT)として使うことが出来ます。グローバル補助金は、同額のWFの資金も使えます。グローバル補助金で消化されなかった資金はポリオに廻されます。全部使い切れれば、財団寄付は、クラブの事業資金を3年間積み立てるのと同じことです。関RCは、新補助金制度になってから3年間補助金を利用しました。本年度はタグラクビーに補助金を利用しました。来年50周年では、EREYが100を超えていますので拠出金額の1.5倍の補助金が出ます。仮に、EREYが150を超えた場合は2倍になります。地区補助金を使う場合、企画から実施まで予算を含めて数年単位での活動が必要となります。そのためには、CLPの実施が必要になります。パスト会長、会長、エレクト、ノミニーによるクラブ運営会議の実行や、社会奉仕、財団委員会の委員長は副委員長が持ち上げるようにすることなどがが必要です。昨年度の関RCの寄付金額の2630地区内での位置を見てみましょう。EREYは113.95で80クラブ中33番目です。地区の平均EREYは123.91でした。クラブからする寄付の他に、色んな形で寄付が出来ます。メンバーの中には今年は所得が上がったから節税もかねて、年次寄付を余分にしようかと言う方がおられたら大歓迎です。また、寄付の仕方も色々あります。毎月一定の金額を寄付することが出来る定期寄付が有ります。また、ロータリーカードを作り、それで買い物をするすると0.5%がポリオに寄付されます。それによって溜ったポイントで年次寄付をすることが出来ます。相続の代わりに寄付したり、現金じゃなく有価証券で寄付する事も出来ます。色んな方法で寄付が出来ますのでやって

みたい方はご相談ください。関RCの昨年度の申請は、承認審査において35点満点中32.2を取り申請24クラブ中1位でした。地域のニーズを取り上げていることが良く伝わりました。タグラクビーが青少年の教育に良い点を強調しました。タグラクビーを市としても普及させたいと考えているのになかなか普及しない。その理由を調べたところ、指導者と用具の不足が有りました。学校には十分な用具がない。先生の中に、タグラクビーを教える者がいない。そこで、ロータリーが立ち上がりました。メンバーの活動も良く見える申請でした。RIとTRFはEREY150を要求しています。地区も150達成を宣言し、ガバナーの重点項目に入っています。毎年のように150達成を要求されるでしょう。「寄付ばかり要求されてロータリーは職業奉仕のクラブだと聞いていたが違うのか」と言う議論が出てきます。日本のロータリーにおいて職業奉仕は非常に大事な奉仕になっていることは事実ですし、私自身もロータリーの職業奉仕は学ぶべき重要なことだと思います。しかし、職業奉仕と社会奉仕の歴史を見てください。1911年頃職業奉仕がシェルドンにより導入されました。しかし、1917年頃にはすでに社会奉仕がRCに入ってきます。その年、社会奉仕に対するRCの対応に満足できない人たちによりライオンズが設立されます。それから、職業奉仕と社会奉仕の対立が始まり、1923年の決議23-34によりその調和が図られました。そして、社会奉仕はどんどん発展し1962年には社会奉仕の考え方は世界社会奉仕に代わりました。関RCが認証されたのは1967年です。職業奉仕が後退したRCに入ってしまったのです。今や、RIやTRFは世界社会奉仕が活動の中心になっています。勿論、日本でRCがこれだけ発展したのは職業奉仕を外しては考えられません。日本人には、もともと近江商人の「三方よし」の考え方が有り、RCの職業奉仕はとて心の良いものに違いありません。日本人は寄付をする時、それがどのように使われ、どんな効果をもたらしたかとても興味が有ります。しかし、アングロサクソンの人達は、寄付行為そのものにステータスを感じています。そして、その寄付先が世界的に信頼の有るRCならばなおさらです。RCに入ったら寄付する事は当たり前と考えていることでしょう。RIが行った調査では、RCに入る動機の一つは地元と国際社会に奉仕したいと言う理由だそうです。国際的に奉仕活動するRCが最も魅力あると言うことです。RCに会員を増やしていく為に、ロータリーが活動することです。補助金を利用して、より大きなプログラムを実行することにより地域での存在感を増し、そのRCに憧れ入会する人も増えることとなります。年次寄付は、クラブの事業費の貯金だと考えてください。上手にやれば、地区補助金として戻ってきます。利息が付いてきます。貯金した補助金を完全に使いこなすにはグローバル補助金の使用もする必要があります。奨学生や職業研修での利用もできます。是非考えてください。

◆11月ゴルフ会



11月18日(水) 9:06
岐阜関カントリークラブ

優勝：土屋佳久さん

次例会のご案内 12月1日(火)12:30
「卓話」内容は未定 担当：国際奉仕委員会

例会：毎週火曜日12:30(第3週は水曜日に18:30)
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ